



## VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 14.1 のリリースノート

初版：2022 年 2 月 24 日

最終更新：2023 年 3 月 8 日

### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

The documentation set for this product strives to use bias-free language. For purposes of this documentation set, bias-free is defined as language that does not imply discrimination based on age, disability, gender, racial identity, ethnic identity, sexual orientation, socioeconomic status, and intersectionality. Exceptions may be present in the documentation due to language that is hardcoded in the user interfaces of the product software, language used based on standards documentation, or language that is used by a referenced third-party product.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



## 目次

### Full Cisco Trademarks with Software License ?

---

#### 第 1 章

#### リリース 14.1 の最新情報 1

ビルド番号 1

新機能およびアップデートされた機能 2

14.1.3 2

14.1.2 2

14.1.1 2

14.1 3

---

#### 第 2 章

#### 要件 5

一般的な要件 5

アクセサリ 5

Windows 版 Cisco Jabber 6

Cisco Unified Communications Manager 6

Mobile and Remote Access (MRA) 向けの Cisco Expressway 6

接続ブローカー: ホスト仮想デスクトップにインストール 6

オペレーティング システム: ホスト仮想デスクトップにインストール 7

サーバオペレーティング システム: ホスト仮想デスクトップにインストール 7

ポート要件 7

サポートされるコーデック 7

要件 — HP Thin Pro 8

要件 — MacOS 9

要件 — Ubuntu 10

要件: Unicon eLux 11

要件: Windows	13
バージョン サポート戦略	15

## 第 3 章

## 制限事項 17

一般的な制限	17
コール制御アクセサリ	17
Jabra Bluetooth デバイスの設定の調整	17
BFCP の共有および Citrix Workspace App の保護	18
コール保持モード	18
カメラのホット スワップ	18
接続方法の変更	18
Cisco Jabber の機能	19
シンクライアントにインストールされた Cisco Jabber	20
Cisco メディア サービス インターフェイスとデュアル VLAN	20
エコー キャンセレーション	20
GPU パススルー	20
Citrix を使用したリアルタイムの Webcam の HDX	20
Jabra ファームウェア	20
Jabber VDI フォールバックモード	21
フォールバックモードのマイクレベル	21
フォールバックモードのセルフビュー	21
複数のホストされた仮想デスクトップセッション	21
リモートディスプレイ プロトコルのサポート	21
リモート問題レポートツール (PRT)	21
1 つのセッションでホストされる仮想デスクトップ (Windows Server 2019)	21
SIP プロファイル	22
VMware ビューでは、USB カメラ リダイレクションはサポートされていません	22
ビデオ コーデックのパフォーマンス	22
VMware のサポート	23
音声メッセージの録音	23
Linux 制限事項と制約事項	23

重複するオーディオデバイス	23
プレゼンスの機能拡張	23
サポートされていない Citrix Workspace アプリの機能	23
Wayland 上の Ubuntu	23
MacOS の制限	24
マルチモニタ	24
Windows の制限事項	24
マルチモニタ	24

---

**第 4 章****不具合 25**

バグのシビラティ（重大度）レベル	25
バグの検索	26
リリース 14.1.3 で解決済みの問題	26
リリース 14.1.2 で解決済みの問題	27
リリース 14.1.1 で解決済みの問題	27
リリース 14.1 で解決済みの問題	27





# 第 1 章

## リリース 14.1 の最新情報

- [ビルド番号 \(1 ページ\)](#)
- [新機能およびアップデートされた機能 \(2 ページ\)](#)

### ビルド番号

バージョン	ビルド番号
VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 14.1.3 • Cisco JVDI Agent • Cisco JVDI Client	14.1.3.57560 ビルド 307560
VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 14.1.2 • Cisco JVDI Agent • Cisco JVDI Client	14.1.2.57144 ビルド 307144
VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 14.1.1 • Cisco JVDI Agent • Cisco JVDI Client	14.1.1.56904 ビルド 306904
VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 14.1 • Cisco JVDI Agent • Cisco JVDI Client	14.1.0.56686 ビルド 306686

# 新機能およびアップデートされた機能

## 14.1.3

### VDI インフラストラクチャビルド

- Citrix 仮想アプリケーションおよびデスクトップ 7 CR 2112
- Citrix 仮想アプリケーションおよびデスクトップ 7 LTSR 2203 Cu2
- Citrix 仮想アプリケーションおよびデスクトップ 7 LTSR 1912 Cu6
- VMware Horizon 2209 (8.7)

## 14.1.2

### VDI インフラストラクチャビルド

- Citrix 仮想アプリケーションおよびデスクトップ 7 LTSR 2206
- VMware Horizon 2206 (8.6)



---

(注) VMware Horizon Client 2206 (8.6) にアップグレードする場合は、Windows 用 JVDI クライアントを 14.1 MR2 にアップグレードする必要があります。

---

### ホスト型仮想デスクトップオペレーティング システム

Jabber VDI 14.1.2 で Windows 2022 を使用します。

## 14.1.1

### VDI インフラストラクチャビルド

- Citrix 仮想アプリケーションおよびデスクトップ 7 LTSR 2203
- Citrix 仮想アプリケーションおよびデスクトップ 7 LTSR 1912 Cu5
- VMware Horizon 2203 (8.5)



## 14.1

### サポートされるプラットフォーム

- Microsoft Windows 11
- Apple macOS 12
- Unicon eLux RP 6 2104 LTSR



---

(注) HP が Thinpro 8.0 をリリースしたら、サポートします。

---

### VDI インフラストラクチャビルド

- Citrix 仮想アプリケーションおよびデスクトップ 7 CR 2112
- Citrix 仮想アプリケーションおよびデスクトップ 7 LTSR 1912 Cu4
- Citrix XenDesktop および XenApp 7.15 LTSR Cu8
- VMware Horizon 2111 (8.4)

### Citrix 仮想アプリケーションおよびデスクトップに関する重要なお知らせ

Citrix 仮想アプリケーションおよびデスクトップ 7 2109 以降、「仮想チャネル許可リスト ポリシー」がデフォルトで有効になっています。最適化モードが正しく動作するように、(Cisco 仮想チャネルを追加することにより) 最初に JVDI に対してこのポリシーを構成するか、またはこのポリシーを無効にします。

```
CISCO,C:\Program Files (x86)\Cisco Systems\Vxc\hvdagent.exe
```

### 新しい JVDI 構成パラメータ

**ENABLE\_BFCP\_DESKTOP\_SHARE**—Windows および Linux 用の JVDI クライアントに適用 [CSCwa33411](#) を修正するために追加されました。このパラメータは、必要に応じて BFCP 画面共有を無効にするのに役立ちます。

このパラメータは、JVDI クライアントの `cisco.conf` で設定します。Windows では、`cisco.conf` は `C:\Program Files\Cisco Systems\Cisco VXME` または `C:\Program Files (x86)\Cisco Systems\Cisco VXME` にあります。Linux では、`cisco.conf` は `/etc/` にあります。

- `true` (デフォルト) : BFCP 画面共有を有効にします
- `false` : BFCP 画面共有を無効にします

### 新しい Jabber 設定パラメータ

**EnableVDIFullScan** : Jabber for Windows 14.0.4 に適用

[CSCvz75206](#) 用に追加されました。このパラメータを使用するには、Jabber for Windows 14.0.4 で JVDI 14.0.3 を実行する必要があります。

特定のサードパーティアプリケーションウィンドウが Jabber 会話ウィンドウに近い場合、プレビュー、リモートビデオ、およびリモート共有ディスプレイが灰色で表示されることがあります。この問題が発生した場合は、このパラメータを有効にします。

- true : JVDI のフルスキャンを有効にして、ディスプレイの問題を修正します。
- false (デフォルト) : 標準の Jabber 動作を維持します。



## 第 2 章

### 要件

---

- 
- 一般的な要件 (5 ページ)
- 要件 — HP Thin Pro (8 ページ)
- 要件—MacOS (9 ページ)
- 要件 — Ubuntu (10 ページ)
- 要件: Unicon eLux (11 ページ)
- 要件: Windows (13 ページ)
- バージョン サポート戦略 (15 ページ)

### 一般的な要件

一般的な要件は、すべての VDI 版 Cisco Jabber Softphone プラットフォームに適用されます。



---

**重要** このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

---

### アクセサリ

推奨される音声およびビデオ アクセサリのリストについては、[http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc\\_endpoints\\_accessories.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html) の「*Unified Communications Endpoint and Client Accessories*」を参照してください。

すべての Jabra デバイスが最新のファームウェアを実行していることを確認します。Jabra Direct を使用してファームウェアを更新できます。

## Windows 版 Cisco Jabber

ホストされた仮想デスクトップ (HVD) で実行されている Windows 版 Cisco Jabber のこのリリース。

仮想環境の互換性の詳細については、リリースの Cisco Jabber ドキュメントを参照してください。

## Cisco Unified Communications Manager

推奨 : Unified CM リリース 11.5 (1) SU3 以降

最小 : Unified CM リリース 10.5

## Mobile and Remote Access (MRA) 向けの Cisco Expressway

推奨 : Expressway X12.5

最小 : Expressway X8.11.4

MRA を使用した VDI 版 Cisco Jabber Softphone では、認証に OAuth 2.0 のみがサポートされません。詳細については、『[Deploying OAuth with Cisco Collaboration Solution guide](#)』を参照してください。



(注) MRA での JVDI は、collab-edge SRV が HVD から解決できることをサポートしていません。この場合、JVDI へのソフトフォンの登録は失敗します。

Split DNS (ネットワーク内外の異なるドメイン) で MRA での JVDI の導入を使用する場合、HVD で内部ドメインを検出しないでください。もし検出した場合、VDI 版 Cisco Jabber Softphone 登録も失敗します。クライアントが内部ドメインを検出しないようにする場合、HVD に Jabber をインストールしている間は UPN を無効にします。

## 接続ブローカー: ホスト仮想デスクトップにインストール

- Citrix XenApp および XenDesktop 6.x、7.x (CR — 7.18 まで、LTSR — 7.15 CU7 まで)
- Citrix Virtual Apps and Desktops 7 (CR — 最大 2212、LTSR 1912 — 最大 CU6、LTSR 2203 — 最大 CU2)
- VMware Horizon バージョン 6.x ~ 8.x

接続ブローカーは、ホスト仮想デスクトップへの接続を作成するソフトウェアです。接続ブローカーは、次のような多数のタスクを実行します。

- ユーザ名を検証し、ユーザの接続を提供します。
- ユーザが特定の仮想デスクトップに接続できるようにします。

## オペレーティングシステム: ホスト仮想デスクトップにインストール

- Microsoft Windows 8.1 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 64 (64 ビット)
- Microsoft Windows 10 (32 ビット)
- Microsoft Windows 10 (64 ビット)
- Microsoft Windows 11 64 ビット (Jabber VDI 14.0.3 以降)

## サーバオペレーティングシステム: ホスト仮想デスクトップにインストール

- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019
- Microsoft Windows Server 2022

## ポート要件

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Cisco Jabber と同じポートと、次の追加のポート範囲が必要です。

表 1: ポートの使用

ポート範囲	説明
16384-32767	RTP の UDP インバウンドおよびアウトバウンドトラフィック (音声およびビデオストリーム)  このポート範囲を減らすように Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ を設定できます。CSF デバイスに関連付けられている SIP プロファイルの開始/停止メディアポートの設定を変更します。

## サポートされるコーデック

サポートされるコーデック

オーディオコーデック

- G.722

- G.722.1 (24 および 32k)

G.722.1 は Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ 8.6.1 以降でサポートされません。

- G.711 A-law
- G.711 u-law
- G.729a
- Opus

Opus は、Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ 11.0 以降でサポートされています。

ビデオ コーデック:H.264/AVC

## 要件 — HP Thin Pro

**Citrix Workspace app** または **VMware ホライズン クライアント**: シンクライアントにインストールされています。

HP Thin Pro イメージには、必要な Citrix と VMware のバージョンが含まれています。

Citrix Workspace app または VMware ホライズン クライアントは、対応する接続ブローカーのユーザ インターフェイスを提供します。

公開されたアプリケーションモードとスクリーンに合わせるオプションはサポートされていません。

### HP Thin Pro シンクライアント: ハードウェア

HP Thin Pro 6.2 でテストされた次のクライアント ハードウェアを推奨します。

- HP t520
- HP t530
- HP t620
- HP t630
- HP t730
- HP mt21

次のクライアント ハードウェアを推奨します。これは、HP Thin Pro 7.1 SP 3.3 でテストされています。

- HP t430
- HP t520

- HP t530
- HP t630
- HP t730
- HP mt21

#### HP ThinPro プラットフォームイメージ

32-bit: HP ThinPro 6.2

64-bit: HP ThinPro 7.1 SP 3.3 および 7.x バージョン

HP ThinPro 8.0



**重要** このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

## 要件—MacOS

#### サポートされているオペレーティング システム

VDI 版 Cisco Jabber Softphone 14.0 は、次の MacOS バージョンでサポートされています。

- Mojave (10.14)
- Catalina (10.15)
- Big Sur (11)
- Monterey (12) : 14.0.3 以降
- Ventura (13) —14.1.3 現在

#### ハードウェア要件

要件 :	Mac 版 Cisco Jabber
搭載されている RAM	2 GB RAM
物理メモリの空き容量	1 GB
ディスクの空き容量	300 MB

要件 :	Mac 版 Cisco Jabber
CPU の速度およびタイプ	次のいずれの Apple ハードウェアの Intel Core 2 Duo もしくはそれ以降のプロセッサ <ul style="list-style-type: none"> <li>• iMac Pro</li> <li>• MacBook Pro</li> <li>• MacBook</li> <li>• MacBook Air</li> <li>• iMac</li> <li>• Mac Mini</li> </ul> VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Apple M1 プロセッサもサポートしています。
I/O ポート	USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

### Citrix および VMware の要件

このリリースの Mac OS 用 VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Citrix および VMware VDI 環境で動作します。Cisco JVDI Client をインストールする前に、Citrix Receiver クライアントではなく、最新の Citrix Workspace クライアントまたは VMware Horizon クライアントをインストールする必要があります。

- Citrix Receiver 13.0 以降
- Citrix Workspace app 1808 以降
- VMware Horizon View Client バージョン 5.5、8.0、または 8.1

Citrix Workspace app または VMware ホライズン クライアントは、対応する接続ブローカーのユーザ インターフェイスを提供します。

公開されたアプリケーションモードとスクリーンに合わせるオプションはサポートされていません。

## 要件 — Ubuntu



**重要** このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。



### Ubuntu デスクトップイメージ

- Ubuntu 14.04 32b LTS (i386)
- Ubuntu 16.04 64b-alpm LTS (AMD64)
- Ubuntu 18.04 64b-alpm LTS (AMD64)
- Ubuntu 20.04 64b-alpm LTS (AMD64)



(注) サポートされているバージョンには、Ubuntu Minimal は含まれていません。

### Ubuntu シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小ハードウェア要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB
- 空きディスク容量 256 MB
- CPU: AMD G-T56N 1.65 Ghz、または Intel Core2Duo T7500 2.2 GHz
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

**Citrix Workspace app** または **VMware** ホライズンクライアント: シンクライアントにインストールされています。

- Citrix Receiver 13.0 以降
- Citrix Workspace app 1808 以降
- VMware Horizon View Client バージョン 4.x、5.x、および 8.x

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカーのユーザ インターフェイスを提供します。

公開されたアプリケーションモードとスクリーンに合わせるオプションはサポートされていません。

## 要件: Unicon eLux



**重要** このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

### Unicon eLux プラットフォーム イメージ

- 64 ビット : Unicon eLux 6.5
- 64 ビット : Unicon eLux 6.8
- 64 ビット : Unicon eLux 6.9
- 64 ビット : Unicon eLux RP6 LTSR 2104 Cu3 (リリース 14.1.3 現在)

eLux パッケージは、Unicon eLux から使用できます。ダウンロードの検索については、eLux サポートにお問い合わせください。

### Unicon eLux シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小ハードウェア要件は次のとおりです。

- 1.6 GHz デュアルコア プロセッサ
- 2 GB RAM

eLux RP 5.7.0 でテストされた次のクライアント ハードウェアを推奨します。

- HP T620 デュアルコア/クアドコア
- HP T630 デュアルコア/クアドコア
- HP T730
- Cisco VXC 6215
- Dell Wyse Z50D

**Citrix Workspace App** または **VMware ホライズンクライアント**: シンクライアントにインストールされています。

Unicon eLux には、必要な Citrix と VMware のバージョンが含まれています。

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカーのユーザインターフェイスを提供します。

公開されたアプリケーションモードとスクリーンに合わせるオプションはサポートされていません。

### Cisco Anyconnect (任意)

vpnsystem v1.0-1

# 要件: Windows



**重要** このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

## Microsoft Windows シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小システム要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB
- 空きディスク容量 256 MB
- CPU モバイル AMD Sempron プロセッサ 3600 +、2 GHz Intel Core 2 CPU、または T7400 (2.16 GHz)
- DirectX 11 互換 GPU
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

**Microsoft Windows:** シンクライアントにインストールされています。

- Microsoft Windows 8.1 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 (64 ビット)
- Microsoft Windows 10 (32 ビット)
- Microsoft Windows 10 (64 ビット)
- Microsoft Windows 11 (64 ビット)



(注) VDI 版 Cisco Jabber Softphone Windows は、Microsoft .NET Framework または Java モジュールを必要としません。

## Windows Embedded Standard シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小システム要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB
- 物理メモリの空き容量 1 GB

- 空きディスク容量 256 MB
- CPUのパフォーマンスは、ビデオの最大解像度に影響します。Windows Embedded Standard シンクライアントでは、予想される解像度はCPUによって異なります。
  - クアッドコア AMD GX-420CA SOC 2 GHz または類似の最大 720p
  - デュアルコア AMD G-T56N 1.65 GHz または類似の240p まで
  - Eden X2 U4200 1 GHz または同様の CPU を介したデュアル コアによる音声のみのサポート



(注) これらのハードウェア仕様は、予想される解像度のガイドラインにすぎません。その他の要因は、ビデオの解像度に影響を与える可能性があります。

- DirectX 11 互換 GPU
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

**Windows Embedded Standard:** シンクライアントにインストールされています。

- Windows Embedded Standard 7 (64 ビット)  
64-bit Systems (KB4019990) 用の Windows Embedded Standard 8 の更新が必要
- Windows 10 IoT Enterprise

**Citrix Workspace App** または **VMware** ホライズンクライアント: シンクライアントにインストールされています。

- Windows 4.4 以降の Citrix Receiver (ICA)
- Windows 1808 以降の Citrix Workspace アプリ (ICA)



**重要** VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Microsoft ストアからダウンロードされた Citrix Workspace アプリをサポートしていません。

- Windows 4.1.0 以降の VMware Horizon クライアント  
(バージョン 4.3 および 4.4 はサポートされていません)。

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカーのユーザインターフェイスを提供します。



**重要** Cisco JVDI クライアントをインストールする前に、Citrix の受信側または VMware ホライズン クライアントをシンクライアントにインストールします。

Citrix 環境から VMware 環境（またはその逆）に変更する場合は、Cisco JVDI クライアントを再インストールします。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、VMWare および Citrix VDI 環境の両方で、Windows および Linux シンクライアント用の全画面表示およびウィンドウ表示をサポートしています。

## バージョンサポート戦略

- Windows 版 Cisco Jabber および Cisco JVDI Agent の主要バージョン (N.A) は常に一致している必要があります。ただし、JVDI クライアントのバージョンは同じであるか、または最大 2 つのリリース (N-1 のサポート) にすることができます。



(注) N.A-c は、メジャーリリースの範囲を示します。x-z は、さまざまなメンテナンスリリースの数を示します。これらの番号は、例としてのみ使用されます。

たとえば、リリースの範囲内で次のバージョンの組み合わせがサポートされています。

- Windows 版 Cisco Jabber リリース N.A(x)、Cisco JVDI Agent リリース N.A(y)、および Cisco JVDI Client リリース N.A(z)
- Windows 版 Cisco Jabber リリース N.A(x)、Cisco JVDI Agent リリース N.A(y)、および Cisco JVDI Client リリース N.B(z)
- Windows 版 Cisco Jabber リリース N.A(x)、Cisco JVDI Agent リリース N.A(y)、および Cisco JVDI Client リリース N.C(z)



(注) 上記の例は、単一のメジャーリリースでサポートされる範囲をカバーしています。新しいリリース番号 (14.0 など) で始まるメジャーリリースの場合、JVDI クライアントは以前の 2 つのリリース (12.9 および 12.8 など) でもサポートされます。

リリースの範囲内で次のバージョンの組み合わせはサポートされていません。

- Windows 版 Cisco Jabber リリース N.A(x)、Cisco JVDI Agent リリース N.A(y)、および Cisco JVDI Client リリース N.D(z)
- Windows 版 Cisco Jabber リリース N.A(x)、Cisco JVDI Agent リリース N.B(y)、および Cisco JVDI Client リリース N.C(z)





## 第 3 章

### 制限事項

---

- 
- 一般的な制限 (17 ページ)
- Linux 制限事項と制約事項 (23 ページ)
- MacOS の制限 (24 ページ)
- Windows の制限事項 (24 ページ)

### 一般的な制限

#### コール制御アクセサリ

アクセサリコール制御(通話量の調整、電話の応答または通話の終了、音声のミュート)は、互換性のあるヘッドセットでサポートされています。他の一部のヘッドセットは基本的な機能を提供しますが、アクセサリ VDI 版 Cisco Jabber Softphone コール制御機能は使用できません。互換性のあるヘッドセットとその他のアクセサリの完全なリストについては、[https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc\\_endpoints\\_accessories.html](https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html)を参照してください。

#### Jabra Bluetooth デバイスの設定の調整

ほとんどの Jabra Bluetooth デバイスでは、オーディオパスの立ち上げ時に短時間の遅延 (約 1 ~ 3 秒) が発生します。サポートされている Jabra Bluetooth デバイスの場合、Jabra Direct でデバイス設定を変更すれば遅延をなくせます。詳細については、Jabra のウェブサイトをご覧ください。

##### 始める前に

Jabra Direct をインストールする必要があります。

## 手順

- ステップ 1 Jabra Direct を開きます。
- ステップ 2 設定を変更する Jabra デバイスをクリックします。
- ステップ 3 [設定 (Settings)] をクリックします。
- ステップ 4 [ソフトフォン (PC) (Softphone (PC))] をクリックして展開します。
- ステップ 5 [優先ソフトフォン (Preferred softphone)] リストから、[Cisco Jabber] を選択します。
- ステップ 6 [電話回線を開く (Open phone line)] を [オン (On)] に設定します。
- ステップ 7 [PC オーディオ (PC audio)] を [オフ (Off)] に設定します。
- ステップ 8 [適用 (Apply)] をクリックします。

## BFCP の共有および Citrix Workspace App の保護

Citrix Workspace のサポートされているリリースでのアプリ保護と、VDI 版 Cisco Jabber Softphone の BFCP 共有が競合しています。ユーザが BFCP 共有を使用するには、アプリ保護が、Citrix Workspace で無効になっている必要があります。

## コール保持モード

「存続可能性」とも呼ばれるコールの保持は、VDI 版 Cisco Jabber Softphone ではサポートされていません。ネットワークの中断が発生し、Cisco Jabber がコール保持モードになると、VDI ユーザに対してコールがドロップされます。

## カメラのホットスワップ

VDI 版 Cisco Jabber Softphone では、通話の開始時にビデオの品質が設定されます。サポートされている HD カメラのいずれかで通話を開始してから、標準解像度のカメラに切り替えると、ビデオの品質が影響を受けます。カメラの切り替えは、通話と通話の間で行うことをお勧めします。

## 接続方法の変更

JVDI クライアントをインストールする前に、必ず Citrix または VMware をインストールする必要があります。したがって、次のいずれかの変更を行った後に、JVDI クライアントを再インストールする必要があります。

### Linux プラットフォーム

- Citrix または VMware のアップグレード
- Citrix から VMware、または VMware から Citrix への切り替え



## Windows および Mac プラットフォーム

- Citrix から VMware、または VMware から Citrix への切り替え

## Cisco Jabber の機能

VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 14.0 は、次を除き、すべての Windows 版 Cisco Jabber リリース 14.0 向け機能をサポートしています。

- エージェントのグリーティング
- アプリケーション共有 (Application sharing)
- [ハブ (Hub) ]メニューからのオーディオデバイスの選択
- シスコ ヘッドセット ファームウェア アップグレード通知 (Linux)
- Cisco Sunkist 730 ヘッドセットプレゼンス LED が Jabber と同期します (Linux)
- Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)
- チーム メッセージング モードのカスタム連絡先
- 遠端カメラ制御 (FECC)
- 連邦情報処理標準 140-2 (FIPS 140-2) および情報保証 (IA) のコンプライアンス
- H-264 高プロファイルサポート
- IM 専用画面共有
- 改善されたビデオ解像度
- Cisco Jabber Jabber へのコール
- Cisco Jabber デスクフォン ビデオ (シンクライアントがユーザのデスクフォンに接続している場合にデスクトップ上に表示されるビデオ)
- ケルベロスおよび共通アクセスカード (CAC) とシングルサインオン (SSO)

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は CAC をサポートせず、SSO でのみケルベロスをサポートします。

- MRA 登録のフェールオーバー
- PreferP2PDesktopShare (Cisco Jabber 構成ファイルにある、ビデオ共有を介して人物間の画面共有を優先順位付けするための構成パラメータ)
- スーパーバイザーバージ
- ワイヤレス画面共有
- ウィスパーアナウンスメント
- チームメッセージングモード用の XMPP 連合

## シンクライアントにインストールされた Cisco Jabber

Cisco Jabber をシンクライアントにインストールしないことをお勧めします。Cisco Jabber をシンクライアントにインストールする場合は、ユーザがホストされた仮想デスクトップにログインする前に Cisco Jabber からサインアウトしてください。VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Cisco Jabber が HVD にインストールされている場合にのみ動作します。

## Cisco メディア サービス インターフェイスとデュアル VLAN

Cisco Media Services Interface (MSI) およびデュアル VLAN は、このリリースではサポートされていません。

## エコー キャンセレーション

エコー キャンセレーションは、音声コールに対してのみ有効になります。

## GPU パススルー

VDI 版 Cisco Jabber Softphone Cisco Jabber が VDI 最適化モードで動作するかどうかを判断するには、表示アダプタ名によります。VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、部分文字列「Citrix」または「VMWare」を含む表示アダプタ名のみをサポートします。

ディスプレイ アダプタに HVD ダイレクトアクセスができるように GPU パススルーを設定すると、ディスプレイ アダプタ名には必要な部分文字列が含まれません。したがって、VDI 版 Cisco Jabber Softphone は導入を非 VDI と誤って識別します。

この問題を回避するには、次の項目を HVD の Windows レジストリに追加します。

```
[HKEY_CURRENT_USER\Software\Cisco Systems, Inc.\JVDI] "isVDIEnabled"="true"
```

登録を編集した後、Cisco Jabber を再起動します。

## Citrix を使用したリアルタイムの Webcam の HDX

VDI 版 Cisco Jabber Softphone カメラの HDX プラグアンドプレイはサポートされていません。Citrix カメラのインタラクションに HDX Webcam を使用することを推奨します。

## Jabra ファームウェア

すべての Jabra デバイスが最新のファームウェアを実行していることを確認します。Jabra Direct を使用してファームウェアを更新できます。詳細については、Jabra のウェブサイトをご覧ください。

## Jabber VDI フォールバックモード

Jabber VDI フォールバックモードは、VDI が仮想チャネルを確立できない場合に、基本的な音声コールとビデオコールを短期的にサポートします。フォールバックモードは、標準コールとコール録音をサポートします。すべての機能セットはサポートされていません。たとえば、フォールバックモードで録音しているコールを転送することはできません。スイッチがフォールバックモードになる原因となるサーバまたはネットワークの問題が原因で、コール品質が低下します。

## フォールバックモードのマイクレベル

ユーザーがヘッドセットのプラグを抜き差しすると、VDI のフォールバックモードではマイクのレベルが 54% にリセットされます。これは Citrix オーディオデバイスマッピングの問題です。

## フォールバックモードのセルフビュー

VDI フォールバックモードでは、セルフビューが Citrix HDX Web カメラまたは VMware 仮想 Web カメラ で表示されないことがあります。

## 複数のホストされた仮想デスクトップセッション

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、複数の HVD セッションで、期待どおりに動作しない場合があります。電話サービス接続には影響はありませんが、ビデオの場合やビデオをプレビューする際に、ビデオまたはセルフビューの位置が間違っている場合があります。

## リモート ディスプレイ プロトコルのサポート

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、次のプロトコルのみをサポートしています。

- Citrix ICA
- VMware: PC を介した IP (PCoIP) および VMware ブラスト

## リモート問題レポートツール (PRT)

仮想チャネル接続が切断されている場合、リモート PRT 機能は動作しません。

## 1 つのセッションでホストされる仮想デスクトップ (Windows Server 2019)

このバージョンの VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、1 つのセッションでホストされる仮想デスクトップ (HVD) として Windows 2019 をサポートしていません。Windows 2019 が VMware

VDI 環境でシングルセッションのデスクトップであり、Jabber for Windows が VDI モードで実行されていない場合は、次の回避策を使用してください。

HVD の Windows レジストリに次のように追加します。

```
[HKEY_CURRENT_USER\Software\Cisco Systems, Inc.\JVDI] "isVDIEnabled"="true"
```

レジストリを編集した後、Cisco Jabber を再起動します。

## SIP プロファイル

Cisco ユニファイドクライアントサービスフレームワーク (CSF) デバイスを作成する場合は、デバイスの **SIP プロファイル** を指定します。SIP プロファイルでは、登録タイマーおよびキープアライブタイマー、メディアポート、サイレント制御など、電話機の特定の SIP 情報を提供します。

認証局プロキシ機能 (CAPF) を使用して、Jabber for Windows のホストされたデスクトップバージョンの電話証明書を管理できます。CAPF 証明書の操作を [保留中の操作なし (No Pending Operation)] から [インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] に変更すると、ユーザは Jabber for Windows をリセットし、サインインして証明書のインストールを完了する必要があります。



**重要** 認証局プロキシ機能 (CAPF) を使用する場合は、[認証モード (Authentication Mode)] に [Null 文字列で (By Null string)] を選択しないでください。

この設定により、Cisco Unified Communications Manager への VDI 版 Cisco Jabber Softphone 登録が解除されます。

## VMware ビューでは、USB カメラ リダイレクションはサポートされていません

USB カメラリダイレクションは、VMware ビューではサポートされていません。

## ビデオ コーデックのパフォーマンス

ソフトウェアのデコードは CPU に大きく依存します。下位の Cpu を使用した Cisco JVDI Client の推定 cpu 使用率は次のとおりです。

- 1.5Ghz、デュアルコア CPU : 65% (55 ~ 75%)
- 1.5 GHz、クアッドコア CPU : 35% (25~45%)

組み込みのハードウェア デコーダを搭載したカメラを使用すると、CPU の負荷が軽減されます。

## VMware のサポート

VDI 版 Cisco Jabber Softphone の 12.8 以降では、表示スケーリングモードがサポートされていません。ユーザは [VMware オプション (VMware Options)] メニューを確認し、[スケーリングの表示を許可 (Allow Display Scaling)] がオフになっていることを確認する必要があります。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、VMWare および Citrix VDI 環境の両方で、Windows および Linux シンククライアント用の全画面表示およびウィンドウ表示をサポートしています。

## 音声メッセージの録音

Windows Server 2019 環境では、VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、ボイスメッセージを録音できない場合があります。この問題を解決するには、HVD のマイクのプライバシー設定を確認し、必要に応じてアプリがマイクにアクセスできるようにします。

## Linux 制限事項と制約事項

### 重複するオーディオデバイス

VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 12.9(3) 以降では、使用可能なすべての内蔵スピーカーとマイクが表示されます。VDI 環境でデバイスを管理する方法が原因で、インターフェイスで入力および出力ソースのエントリが重複している可能性があります。

### プレゼンスの機能拡張

プレゼンスの機能拡張は HP Thin Pro では機能しません。

### サポートされていない Citrix Workspace アプリの機能

Linux 向け Citrix Workspace アプリ 2112 以降では、Citrix パラメータ AudioRedirectionV4 を有効にして、Citrix セッションで使用可能なすべてのローカルオーディオデバイスをその名前が表示できます。

JVDI では、この Citrix 機能をサポートしていません。

### Wayland 上の Ubuntu

JVDI クライアントは、Wayland ディスプレイサーバーでは機能しません。JVDI は現在、Xorg/X11 をサポートしています。

## MacOS の制限

### マルチモニタ

MacOS では、VDI 版 Cisco Jabber Softphone は全画面モードでの複数の物理モニタをサポートしません。Citrix Workspace では、[全画面で表示すべて使用 (Use all displays in full screen)] 設定を必ずオフにする必要があります。この設定では、現在のディスプレイで全画面モードがサポートされています。

## Windows の制限事項

### マルチモニタ

Windows では、VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Citrix Workspace アプリの複数仮想モニタ (「モニタレイアウト」機能) をサポートしません。



## 第 4 章

### 不具合

- [バグのシビラティ（重大度）レベル（25 ページ）](#)
- [バグの検索（26 ページ）](#)
- [リリース 14.1.3 で解決済みの問題（26 ページ）](#)
- [リリース 14.1.2 で解決済みの問題（27 ページ）](#)
- [リリース 14.1.1 で解決済みの問題（27 ページ）](#)
- [リリース 14.1 で解決済みの問題（27 ページ）](#)

### バグのシビラティ（重大度）レベル

既知の不具合またはバグには、不具合の優先度を示す重大度レベルが設定されています。これらのリリース ノートには次のバグ タイプが含まれています。

- シビラティ（重大度）レベル 1 または 2 のすべてのバグ
- 重大度レベル 3 の重要なバグ
- 重大度レベル 6 の機能拡張要求を除く、お客様が発見したすべてのバグ

重要度	説明
1 壊滅的 (Catastrophic)	ほぼ一般的な状況において、システム全体が機能不全に陥る、または主なサブシステムの動作が停止する、またはネットワーク上の他の装置が妨害を受けるが、回避策がありません。
2 重大 (Severe)	重要な機能が使用できなくなり、回避策がありません。その他の機能および残りのネットワークは正常に動作します。
3 中程度 (Moderate)	異例の状況で機能不全に陥るか、重要度の低い機能がまったく使用できなくなります。または、その他の機能不全に陥りますが影響を小さくする回避策はあります。  ドキュメンテーション バグの最も高いレベル。

重要度	説明
4 軽微 (Minor)	極めて異例の状況で機能不全に陥りますが、動作は基本的に特に操作しなくても回復します。ユーザは回避策を講じる必要はなく、パフォーマンスへの影響は許容範囲内です。
5 表面的 (Cosmetic)	システムの機能に対する悪影響はありません。
6 機能強化 (Enhancement)	新機能または機能改善に対する要求です。

## バグの検索

ここに示されていないバグを検索するには、バグ検索ツールを使用します。

### 手順

- 
- ステップ 1** バグ検索ツールにアクセスするには、<https://tools.cisco.com/bugsearch/search> をクリックします。
- ステップ 2** 自分の Cisco.com のユーザ ID とパスワードでサインインします。
- ステップ 3** 特定の問題の情報を検索するには、[検索 (Search for)] フィールドにバグ ID 番号を入力して Enter を押します。または、製品およびリリースで検索できます。
- 詳細については、バグ検索ページの右上にある [ヘルプ (Help)] をクリックしてください。
- 

## リリース 14.1.3 で解決済みの問題

Windows 版 Jabber で解決済みの問題については、[Jabber リリースノート](#) を参照してください。

問題 ID	重大度	説明
<a href="#">CSCwd21433</a>	3	Jabber の実行時に画面がちらつく (Linux プラットフォーム)
<a href="#">CSCwd21535</a>	3	Linux 上の Jabber VDI 14.0.1 で、Zoom ミーティング中に Jabra ヘッドセットからのミュート/ミュート解除に関する問題が発生する
<a href="#">CSCwd50790</a>	3	CUCM から Jabber VDI で PRT をリモートで収集できない (すべてのシンクライアントプラットフォーム)



問題 ID	重大度	説明
<a href="#">CSCwd63866</a>	3	PulseAudio への接続に失敗すると、Linux 上の JVDI クライアント 14.0.3 がフリーズまたはクラッシュする
<a href="#">CSCwd85202</a>	3	eLux デジタル署名証明書の Jabber VDI 14.1 の有効期限が切れています (Debian パッケージ)

## リリース 14.1.2 で解決済みの問題

Windows 版 Jabber で解決済みの問題については、[Jabber リリースノート](#)を参照してください。

問題 ID	重大度	説明
<a href="#">CSCwb80658</a>	3	VDI モジュールでは、TFTP サーバーまたは CCMCIP サーバーの順序変更を無視する必要がある
<a href="#">CSCwc14388</a>	3	Citrix Workspace 2111 または 2201 を使用すると、Mac OS 仮想チャネル用の Jabber VDI が機能しない
<a href="#">CSCwc36902</a>	3	ソフトフォン/ハードフォンの切り替えができず、停止する
<a href="#">CSCwc26870</a>	4	Jabber VDI の電話サービスがランダムに切断する

## リリース 14.1.1 で解決済みの問題

Windows 版 Jabber で解決済みの問題については、[Jabber リリースノート](#)を参照してください。

問題 ID	重大度	説明
<a href="#">CSCwb00609</a>	3	Jabber 14.1 Windows JVDI クライアントのコール制御がコンタクトセンターのコールフローでフリーズする
<a href="#">CSCwb53316</a>	3	Jabber ソフトフォンのミュート動作が JVDI の Cisco 532 ヘッドセットの動作と一致しない

## リリース 14.1 で解決済みの問題

問題 ID	重大度	説明
<a href="#">CSCvy80559</a>	3	Jabber VDI ビデオのブラックスクリーン - バージョン 14

問題 ID	重大度	説明
<a href="#">CSCvz44805</a>	3	大規模な CMS 会議中に Jabber For Windows の応答が遅くなる
<a href="#">CSCvz75206</a>	3	Jabber JVDI 展開 - グレーのビデオ
<a href="#">CSCvz79812</a>	3	Jabber がログアウト直後にログインに失敗する
<a href="#">CSCwa33411</a>	3	Jabber VDI で画面共有を無効にできない
<a href="#">CSCwa38601</a>	3	prt を生成する vdi の Jabber がタイムアウトする
<a href="#">CSCwa75037</a>	3	macOS 用の JabberVDI がログインキーチェーンを上書きする

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。